

「気候変動監視レポート2015」を公表しました
「平成27年9月関東・東北豪雨」の背景となった不順な天候や
2015年のエルニーニョ現象等、
気候や海洋、大気環境について幅広く解析しました

気象庁では、気候、海洋、大気環境の各分野の観測や監視、解析結果をとりまとめた「気候変動監視レポート」を毎年公表しています。今般、当該分野における2015年の状況やこれまでの長期的な変化傾向について、「気候変動監視レポート2015」として取りまとめ、本日気象庁ホームページで公表しました。

本年のレポートでは、顕著な事例として、「平成27年9月関東・東北豪雨」の背景となった不順な天候や、2015年中に顕著に発達したエルニーニョ現象についての詳細な解析結果も掲載しました。

主な掲載内容は別紙をご覧ください。また、本レポートの全文は気象庁ホームページ上の「各種データ・資料」の「地球環境・気候」からご覧いただけます。

レポートのURL: <http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/index.html>

「気候変動監視レポート2015」構成

第1章 2015年の気候

世界や日本の天候・異常気象、「平成27年9月関東・東北豪雨」の背景となった2015年8月中旬～9月上旬にかけての不順な天候、2015年中に顕著に発達したエルニーニョ現象など

第2章 気候変動

気温や降水量の長期変化傾向、さくらの開花日の経年変化、海洋・海氷、北半球の積雪域の変動など

第3章 地球環境の変動

温室効果ガス、海洋酸性化（海洋内部の解析結果も新たに掲載）、オゾン層・紫外線の変動、コラム「50年目を迎えた東経137度定線観測」など

本件に関する問い合わせ先

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課
電話：03-3212-8341（内線 4225）